

事務事業評価表(既存事業)

コード 13-1-2	事務事業名 市民文化祭事業	所管部課 生涯学習部社会教育課
---------------	------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 市と市民団体との共催事業。実行委員会に参加した団体・個人が日頃の文化活動の成果を発表することにより、文化活動の推進を図る。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)芸術・文化活動の振興(創3-4) (主要施策)市民主体の文化活動の推進
	実施内容、実施方法 企画・立案及び運営については市民実行委員会の責任範囲で、費用の負担、環境条件整備については教育委員会の範囲として責任分担をしている。こもれびホール、市民会館、公民館を主会場として作品の展示、舞踊、演奏等の発表をしている。	根拠法令等 西東京市民文化祭実施要綱
	事業開始時期 平成 13 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> その他(共同開催 実行委員会と共催)

評価指標の設定	活動指標名 実施回数	活動指標の考え方(定義) 市民文化祭を年間に実施した回数(年1回実施している)
	成果指標名 参加団体数	成果指標の考え方(定義) 市民文化祭に参加した団体数
	参加者数(来場者数)	市民文化祭に参加した人数(来場者数)

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		1,342	1,291	1,395	1,470	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		1,342	1,291	1,395	1,470	
	所要人員(B)	人	0.40	0.40	0.40	0.40	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	3,298	3,309	3,331	3,331	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	4,640	4,600	4,726	4,801	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(参加者数)	千円	0.29	0.31	0.27		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	回			1	1
		実績値	回	1	1	1	
	活動指標	目標値					
実績値							
成果指標	目標値	団体			230	230	
	実績値	団体	231	242	232		
成果指標	目標値	人			17,500	17,600	
	実績値	人	16,019	14,841	17,572		

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	国・都・他市・民間等 における類似事業	
	運営上の制約条件・ 外部要因等	

コード 13-1-2	事務事業名 市民文化祭事業	所管部課 生涯学習部社会教育課
---------------	------------------	--------------------

事業所管部評価	項目	評価結果	判断理由、説明等
	実績	<input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	参加者数は一定の成果を上げている。参加団体間の交流が課題。
	必要性	<input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	一定の関心や広がり認められる。今後さらに今までとは違う層や市民への広がりが課題である。
	効率性	<input type="checkbox"/> 大きく改善 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	市民文化の発展にどのように貢献しているのかということに関して、冷静な視点から第三者による評価をする仕組みを検討する必要がある。
	公平性	<input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	参加団体数は受け入れ会場の関係で多ければ良いというわけではないが、参加者数は伸びていかなければならない。伸び方にやや問題がある。特定の人間の参加の枠を超える取組みが必要である。
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	質的向上や参加団体間の交流をどのように図るのか、重要課題である。

17年度における改善点	他の事業(地域生涯学習事業等)との連携、協力関係が取れないかということを検討する。
-------------	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。